

自律に向けた町づくり基本構想

基本構想の目的

平成の大合併の嵐が吹き荒れる中、当町は、平成15年1月16日に議会とともに、市町村合併を選択せず、自律の道を歩むことを決めました。これを新たな地域づくりの機会と位置付け、同年4月から自律に向けた町づくり計画の策定に取り組んでまいりました。この基本構想は、平成37年度まで財政に裏付けされた町づくりの基本的な考え方を示すものです。

先人先輩の町づくりの努力に感謝するとともに、未来を担う子や孫たちに向けて、町づくりのメッセージを送ります。

津南町の将来像

今後、少子高齢化が急速に進み、コーホート変化率法を使った人口推計によると、平成29年には人口1万人以下になることが推計されています。

夢と誇りが持て、「津南に住んでいてよかった」、「津南を訪れてよかった」と思えるような町にするために

- 1 豊かな清流、澄んだ空気、緑豊かな大地などの自然的資源を活用し、農林業を基幹産業として位置付けます。
- 2 体験型の観光を推進し、交流人口の増加を図ります。
- 3 後継者育成とIターンの積極的な受入により、町民一人ひとりが生きがいを持ち、活気のある、人口13,000人の町を目指します。
- 4 行政サービスについても、行政・民間企業・住民が対等な立場で協力し、さまざまなサービスを実施する協働型社会の実現を目指します。

町づくりの目標と理念

1 住民が大切にされる町

四季折々の自然の中で、安心して豊かに暮らせる町、住民一人ひとりが大切にされる町づくりを目標とします。

…行政には一人ひとりの顔が見え、体温が感じられる地域を創造していくことが求められています。

2 住民の暮らしを支える町

現行の住民の暮らしに関わる基本的サービス水準を維持し、新たなニーズに対応していくことができるように、健全な町財政を実現します。

…自己努力回避型の道は選ばず、財源を減額されても、独立独歩生き抜く土台づくりが必要です。

3 住民参加と協働の町

行政の守備範囲を見直し、町民や各種団体等が、それぞれのできる範囲で行政に参加し、町と協働して地域運営をし、共に支えあいながら暮らす地域社会を創造します。

…住民はサービスの受け手のみならず、行政と協働しながらサービスの提供や地域づくりの担い手として主体的に活動することが期待されています。

4 町行政の原点

役場は住民のためにあるのであって、住民は役場のためにはありません。役場職員は、このような機構の担い手であり、住民全体の奉仕者であります。

…職員の意識改革、住民の立場に立った組織改革を行ないます。

町づくりの基本

1 人のぬくもり



住んでみたい

2 豊かな自然



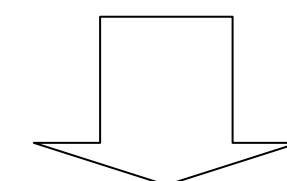
訪れてみたい

3 安全・安心の食



食べてみたい

三つの財産を守る



未来のために今私ができること

…家族のために、地域のために…